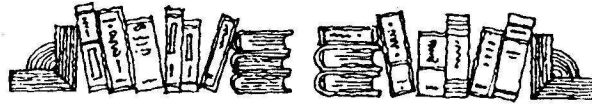


国語国文学会だより



No. 43

2010. 9

日本文学科卒業生の会

国語国文学会

春の総会・研究発表会報告

平成二十二年春の総会・研究発表会を五月二十七日(木)、八十年館八五一教室にて開催しました。

◆第一部 総会

(1) 国語国文学会会長挨拶

平舘英子先生

(2) 奨学金授与

上村悦子奨学金

院博士課程前期二年次 吉田史沙氏

中島斌雄奨学金

院博士課程前期二年次 田代あゆ氏

茅野蕭々・雅子記念奨学金

本学学術研究員 近藤華子氏

久松潜一記念奨学金

学部四年次 梶原瑞貴氏

日本女子大学日本文学科賞(奨励賞)

院博士課程前期二年次 曹玉亭氏

学部四年次 谷崎たまき氏・中絵里子氏

藤田沙矢香氏・若林歩氏・渡邊彩子氏

(3) 国語国文学会委員長挨拶・役員紹介

(学生の会・卒業生の会)

(4) 平成二十一年度活動・決算報告

(5) 平成二十二年活動計画案・予算案・監査選出

(4)(5)については、学生、卒業生より各々報告説明を行い、各案件とも審議後承認

(6) 自主ゼミ発足(学生の会・卒業生の会)、承認

◆第二部 活動報告と研究発表

交換留学生紹介及び挨拶

学部四年 キム・ミンキョン、ニユエン・ザオリン

チ(ウエルズリー・カレッジ)

チェ・ジウン(梨花女子大学)

(短期留学生)

学部二年 コルボスカ・マウゴージャタ・バルバラ

(ワルシャワ大学)

秋季大会・公開講演会のご案内

▼日時 平成二十二年十二月四日(土)

十三時半～十六時半(予定)

▼場所 百年館低層棟二〇七教室

▼総会

▼公開講演会

「ことばメガネ」 アーサー・ピナード氏

☆講師略歴

アーサー・ピナード

一九六七年アメリカ合衆国・ミシガン州生まれ。

詩人・俳人、随筆家、翻訳家。大学の卒業論文執筆時に日本語に興味を持ち、九〇年に単身来日。

日本語での詩作、翻訳を開始。二〇〇一年、詩集『釣り上げては』(思潮社)で中原中也賞を受賞。

〇八年、詩集『左右の安全』(集英社)で山本健吉文学賞を受賞。ほか著作多数。

▼講演 「古今集時代の屏風歌」本学教授 高野晴代先生

▼懇親会 講演会終了後、ワイミンにて(予定)

会費三千元(学生千五百円)(予定)

* 研究発表会

四日 十時～十二時

発表者募集

詳細は四面参照

▼報告

活動報告

・「近世自主ゼミ活動報告」

鳥羽梨予氏

・「皇女研究会活動報告」

一文字昭子氏

▼研究発表

・「齊藤茂吉『寒雲』の戦争歌―メディアが短歌に与えた影響―」大川智子氏（新制六十回生）

・「『今とりかへばや』の親子の（愛情）描写にみる物語の志向―（個人）から（家）へ―」伊達舞氏（院博士課程前期一年次、平成二十一年度日本文学科学賞受賞）

平成二十一年度卒業生の会活動報告

(1) 総務

・回生委員会・常任委員会の招集

・春季総会・研究発表会の開催 五月二十八日

(木)

(2) 企画

・自主ゼミの活動

皇女研究会・古代中世文化論ないし芸術論

・文学散歩 十月十五日（木）

・皇居東御苑三の丸尚蔵館と出光美術館の見学
・秋季大会の開催 十二月五日（土）

研究発表会・総会・講演会・懇親会

(3) 会計

・会費納入の確認

・収支・運営・備品の完備など

・名簿作成・発送（十一月）

(4) 編集

・「国語国文学会だより」の発行

四十号（秋の大会報告号 五月）

四十一号（春の大会報告号 九月）

・はがき通信 五月（春の総会案内）

・はがき通信 十一月（秋季大会案内）

・はがき通信 十一月（秋季大会案内）

平成二十二年卒業生の会活動計画

(1) 総務

・春季総会・研究発表会の開催 五月二十七日（木）

(2) 企画

・自主ゼミの設立

皇女研究会（国史を読む）

・古代中世文化論ないし芸術論

・秋季大会の開催

・文学散歩の実施予定

研究発表会・総会・講演会・懇親会

(3) 会計

・会費納入への協力依頼

・活動充実のための備品の整備・購入

(4) 編集

・「国語国文学会だより」の発行

秋の大会報告号 四十二号（五月）

春の大会報告号・秋の大会案内号 四十三号（九月）

・はがき通信 十一月

平成二十二年常任委員

総務 立川和子（新1） 関根緑（44）

岩切匡子（新4） 金石教子（新12）

藤木直実（院31）

企画 永井幸子（新1） 大平妙子（新24）

日本女子大学国語国文学会・卒業生の会 平成21年度決算案（平成22.5.27）			
【収入の部】 (単位：円)			
項目	予算	決算	増減
前年度繰越金	43,660	43,660	0
会費	510,000	499,460	△10,540
利子	0	35	35
寄付	0	14,000	14,000
計	553,660	543,155	△10,505
【支出の部】			
通信費	230,000	143,280	△86,720
文具費	3,000	28,520	25,520
コピー代	10,000	10,825	825
会報印刷費	80,000	95,800	15,800
名簿作成費	30,000	200	△29,800
委員会活動費	39,000	33,997	△5,003
・委員会費	(6,000)	(5,997)	(△3)
・交通費	(28,000)	(28,000)	(0)
・行事費	(5,000)	(0)	(△5,000)
ゼミ費	20,000	20,000	0
秋季大会費	80,000	75,537	△4,463
慶弔費	3,000	0	△3,000
パソコン関係諸費	50,000	39,590	△10,410
予備費	8,660	0	△8,660
計	553,660	447,749	△105,911
次年度繰越金			95,406
上記の通り決算報告致します。			
会計	津田 英子	斎藤 雅代	
監査の結果、上記決算報告が正確であることを認めます。			
監査	斎藤 令子	児玉久美子	

※原本同一で押印済み

平山静(新34)

會計 津田英子(新6) 齊藤雅代(新19)

編集 遠間倫世(新54) 鈴木ちよ(新56)

本年度の會計監査は児玉久美子さん(旧46)、齊藤

令子さん(新6)です。

平成二十二年研究サークル

*皇女研究会(皇女総覧平安朝篇の作成)

不定期 土曜日 午前10時半

大学図書館共同研究室

・柳澤理恵子 Ⅷ〇四五(八四二) 六五二五

*古代中世文化論ないし芸術論

毎月第四木曜日 午後一時半〜三時半

桜楓会館新館

・児玉久美子 Ⅷ〇四四(八一四) 〇七五二

○『国文目白』第四十九号ができました。ご希望の方

方は葉書で左記までお申し込みください。

〒一一二・八六八一 文京区目白台二・八一

日本女子大学日本文学科研究室『国文目白』係

代金は、冊子到着後に払い込んでください。

(送料別 千四百円)

国文目白第四十九号(後藤祥子名誉教授学長退任記

念号)

後藤祥子名誉教授略歴ならびに著述目録

天の鶴群―遣唐使の母が贈る歌―

『蜻蛉日記』下巻の道綱母詠

―大人の相聞―という贈答歌の可能性―

『鼓滝』と中世有馬

『仙源抄』とアクセント仮名遣い

平館英子

高野晴代

石井倫子

日本女子大学国語国文学会
・卒業生の会
平成22年度予算案

(平成22.5.27)

【収入の部】

(単位:円)

項 目	予 算
前年度繰越金	95,406
会 費	500,000
利 子	35
計	595,441

【支出の部】

項 目	予 算
通信費	170,000
文具費	20,000
コピー代	25,000
会報印刷費	80,000
名簿作成費	60,000
委員会活動費	39,000
・委員会費	(6,000)
・交通費	(28,000)
・行事費	(5,000)
ゼミ費	20,000
秋季大会費	80,000
慶弔費	3,000
パソコン関係諸費	50,000
予備費	48,441
計	595,441

―長慶天皇はわかつていた―

「魂」を詠む歌―「袖に包む魂」・「夢のたましひ」

―「古今集」時代の歌ことば表現の一考察―

『蜻蛉日記』の鶯と郭公 道綱母の心象風景―

相模集所載「走湯権現奉納百首」試論

―誰が「権現返歌百首」を詠じたか―

「源氏物語」とよみ人しらず歌

九条幸家と源氏物語 源氏切紙と幻の絵巻―

藤原朝光と『朝光集』

―「狭衣」の本文異同

―「右大臣の秘すらん女」について―

離恨綿綿 春日如年

―古代日中後宮女性文学の比較研究―

『更級日記』の富士山描写解釈に関する二三の問題

―色彩を知り、装束を知ることの重要性を反芻する

坂本清恵

佐田公子

赤間恵都子

近藤みゆき

植田恭代

杉本まゆ子

高橋由記

孫佩霞

孫佩霞

孫佩霞

孫佩霞

孫佩霞

孫佩霞

孫佩霞

孫佩霞

孫佩霞

孫佩霞

孫佩霞

一契機として―

『讃岐典侍日記』の「常陸殿」―「典侍藤原房子」

説の問題点と「歌人肥後」説の可能性―

新春の哀傷

平安期文学における「おく」と「はし」

鑑賞される童について(遺稿)

ほか

【書評・紹介】(兼報)

研究室だより

○昨年度児玉竜一先生(近世文学)、田中功先生(図

書館学)が退職され、後任に福田安典先生(近世文

学)、大谷康晴先生(図書館学)が着任されました。

○今年度は秋学期から倉田宏子先生がサバティカル

をとられます。

○昨年度国内研修に出ていらつしやった江田すみれ

先生(日本語教育学)がご帰任になりました。

森田直実

高野瀬恵子

林悠子

時田麻子

小山香織

○四月一日から七週間、坂本清恵先生がイリノイ州ワシントン大学での集中講義のため出張されていたが、帰国されました。

○今年度の先生方です。

平舘英子先生（上代文学）

高野晴代先生（中古文学）

石井倫子先生（中世文学）

福田安典先生（近世文学）

源 五郎先生（近代文学）

倉田宏子先生（近代文学）

坂本清恵先生（日本語学）

清水康行先生（日本語学）

谷中信一先生（中国思想史）

大谷康晴先生（図書館学）

江田すみれ先生（日本語教育学）

田辺和子先生（留学生教育）

○研究室には、昨年度と同じく助教の鈴木美穂さん、助手の白石美鈴さんが常勤で詰めています。

○非常勤助手も昨年度と同じく宮本由規子さん、鴨川都美さんをお願いしています。

○大学院の談話会が七月二十二日（木）に開かれ、田中功先生の図書館学のお話がありました。和やかな雰囲気の中、他大学図書館を紹介され、未来の図書館に関して新しい提言をしてくださいました。

○今年度も国語科教員の会が七月三十一日（土）に開かれました。今年度から新しい試みとして講演・懇談会・名刺交換会の三部構成で、卒業生の先生方と教員免許取得を希望している学生たちが参加して、午後中を使って行われました。ご講演は不破裕子先

生（新三十一回生、東京文京区立音羽中学校校長）が「国語科授業の充実と改善」伝統的な言語文化に関する事項を中心に」と題して、古典文学に関する教育活動報告と学校運営に関する地域の大学との連携についてお話し下さいました。懇談会ではご出席の専任の先生方全員から、近況報告と学生たちへの体験を踏まえたさまざまなアドバイスをいただき、名刺交換会は先生方と学生たちが熱心に交流し、時間が足りないほどでした。

○国語科教員採用情報ネットワークを立ち上げました。教員採用情報などを共有すること、日本文学科の行事などをお知らせすることを目的としています。教員免許をお持ちでご関心のある方は nichibuninfo@jwu.ac.jp までご連絡ください。

○十二月十一日（土）には、歌舞伎をテーマにした文学部学術企画によるシンポジウムを開催致します。○国語国文学会の本年度の担当は、谷中先生・坂本先生と鴨川さんです。

▼文学散歩

秋の一日を、目白キャンパス周辺の施設をめぐることにしました。奮ってのご参加をお待ちしております。

コース 鬼子母神にお詣り→秋の色に染まる森の中の永青文庫→周辺の関口芭蕉庵→講談社野間記念館→椿山荘で食事→解散

・日時 十月二十一日（木）午前十時～

・集合場所 JR山手線目白駅改札口

・費用 昼食代等 約三千円

・申込み・問い合わせ 立川和子（新1）

・電話・FAX ○四二（三二二）七九一七
・締切り 十月十八日（月）

◆研究発表会 発表者募集

・日時 平成二十二年十二月四日（土）

・場所 香雪館一〇二教室

・発表時間 三十分、質疑応答十分

・応募資格 本学国語国文学会の会員であること

・応募方法 論題に四百字以内の発表要旨を添えて

文書で申し込むこと

・応募先 日本文学科研究室内「国語国文学会

秋季大会研究発表者募集係」宛

・締切り 平成二十二年十月十二日（火）必着

・選考方法 国語国文学会において選考を行い、

選考結果は後日、個別に通知いたします。

二〇二〇年九月一日

発行・日本女子大学日本文学科

国語国文学会卒業生の会

〒一〇二八六八一 東京都文京区目白台二八八一

日本女子大学 日本文学科内